

3.13 災害対応能力

3.13.1 救出活動

(1) 救出可能・不可能数について

建物倒壊により閉じ込められた自力脱出困難者（要救助者数）に対して、兵庫県南部地震における救出記録（出典：震後「余命特性曲線」の試算-兵庫県南部地震の場合-、太田ら、1999年、日本地震学会）から地震発生後10時間までは生存率80%程度、24時間後生存率50%程度、72時間後生存率10%程度であることを鑑みて、救出目標時間を設定した。

救出活動の条件は次のとおり設定し、救出可能・不可能者数を算出した。

自力脱出困難者（要救助者数）のうち70%は住民等によって救出され、30%が消防によって救出される。消防によって救出されるものを対象とする。

救出隊は1班あたり5人の消防団員とする。

団長等除く消防団員は1,106人（平成28年4月1日現在）とする。

団長等除く消防団員1,106人のうち、動員数は6時間までは2割（約220人・44班）、6時間以降は5割（約550人・110班）を動員可能とする。

現場へのかけつけ時間は16分とする。

救出時間は救出隊1班で1人の救出に木造建物の場合117分（かけつけ時間を含めると133分）、非木造建物の場合252分（かけつけ時間を含めると268分）を要する。1班1時間あたりの救出人数は木造約0.45人、非木造約0.22人となる。

(2) 算出結果

表 3.13.1 救出対象者数、救出可能・不可能数 (A. 千葉県北西部直下地震)
[冬 18 時強風]

地区	要救助者数 (人)	消防による救出対象者 (人)			目標時間10時間		目標時間24時間		目標時間48時間		目標時間72時間	
		木造	非木造	計	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能
					(人)	者(人)	(人)	者(人)	(人)	者(人)	(人)	者(人)
成田地区	5	1	1	2	2	0	2	0	2	0	2	0
公津地区	4	1	1	2	1	0	1	0	1	0	1	0
八生地区	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
中郷地区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久住地区	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
豊住地区	2	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
遠山地区	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
ニュータウン地区	6	1	1	2	2	0	2	0	2	0	2	0
下総地区	4	1	1	2	1	0	1	0	1	0	1	0
大栄地区	3	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
計	32	6	4	10	10	0	10	0	10	0	10	0

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

表 3.13.2 救出対象者数、救出可能・不可能数 (B. 成田空港直下地震)
[冬 18 時強風]

地区	要救助者数 (人)	消防による救出対象者 (人)			目標時間10時間		目標時間24時間		目標時間48時間		目標時間72時間	
		木造	非木造	計	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能
					(人)	者(人)	(人)	者(人)	(人)	者(人)	(人)	者(人)
成田地区	14	2	2	4	4	0	4	0	4	0	4	0
公津地区	15	2	3	5	5	0	5	0	5	0	5	0
八生地区	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
中郷地区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久住地区	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
豊住地区	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
遠山地区	11	2	2	4	3	0	3	0	3	0	3	0
ニュータウン地区	18	1	4	5	5	0	5	0	5	0	5	0
下総地区	4	1	1	2	1	0	1	0	1	0	1	0
大栄地区	8	2	1	3	2	0	2	0	2	0	2	0
計	79	11	13	24	24	0	24	0	24	0	24	0

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

表 3.13.3 救出対象者数、救出可能・不可能数 (C. 茨城県南部地震)
[冬 18 時強風]

地区	要救助者数 (人)	消防による救出対象者 (人)			目標時間10時間		目標時間24時間		目標時間48時間		目標時間72時間	
		木造	非木造	計	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能
					(人)	者(人)	(人)	者(人)	(人)	者(人)	(人)	者(人)
成田地区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公津地区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八生地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中郷地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久住地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊住地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遠山地区	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
ニュータウン地区	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
下総地区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大栄地区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	2	1	3	3	0	3	0	3	0	3	0

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

表 3.13.4 救出対象者数、救出可能・不可能数 (D. 成田市直下地震)
[冬 18 時強風]

地区	要救助者数 (人)	消防による救出対象者 (人)			目標時間10時間		目標時間24時間		目標時間48時間		目標時間72時間	
		木造	非木造	計	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能	救出可能者	救出不可能
					(人)	者(人)	(人)	者(人)	(人)	者(人)	(人)	者(人)
成田地区	118	13	23	35	35	0	35	0	35	0	35	0
公津地区	118	8	28	35	35	0	35	0	35	0	35	0
八生地区	17	3	2	5	5	0	5	0	5	0	5	0
中郷地区	5	1	0	2	2	0	2	0	2	0	2	0
久住地区	6	1	1	2	2	0	2	0	2	0	2	0
豊住地区	5	1	0	2	2	0	2	0	2	0	2	0
遠山地区	84	9	16	25	25	0	25	0	25	0	25	0
ニュータウン地区	200	6	54	60	60	0	60	0	60	0	60	0
下総地区	6	1	1	2	2	0	2	0	2	0	2	0
大栄地区	8	2	1	3	3	0	3	0	3	0	3	0
計	567	45	126	170	170	0	170	0	170	0	170	0

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

3.13.2 主要物資の供給

(1) 主要物資の不足量等

全避難者を対象者として、主要物資（食料、飲料水、毛布、簡易トイレ）の不足量等を想定した。

物資不足量＝需要量－供給量

※供給量は、市の現況の備蓄量（平成29年4月現在）とし、県や周辺市町からの応援量は想定していない。

※余剰物資を市内他地区に再配分は行わないものとする。

①食料の不足量

食料需要は全避難者を対象者として、「千葉県の大規模災害時の緊急物資等の備蓄に関する計画」を参考に、1日1人2食を原単位とした。

食料の供給は、市の備蓄量および家庭内備蓄量（3日間は持参率30%、4日目以降0%）を想定した。

対象とする食料は、アルファ米、乾パン、クラッカーとした。

需要量と供給量との差より不足量を算出した。

②飲料水の不足量

給水需要者は全避難者を対象者として、「千葉県の大規模災害時の緊急物資等の備蓄に関する計画」を参考に、1日1人1リットルを原単位とした。

飲料水の供給量は、市の備蓄量および家庭内備蓄量（3日間は家庭準備率30%、4日目以降0%）、市給水車（2トン車2台及び1トン車4台、2日目以降1日2回、8千リットル）による応急給水量を想定した。

需要量と供給量との差より不足量を算出した。

③毛布の不足量

毛布需要者は全避難者を対象者として、「千葉県の大規模災害時の緊急物資等の備蓄に関する計画」を参考に、1人1枚を原単位とし、消耗しないものとした。

毛布の供給は、市の備蓄量および家庭内備蓄量（家庭準備率50%）を想定した。需要量と供給量との差より不足量を算出した。

④トイレの不足量

トイレ需要者は全避難者を対象者として、し尿1回で1袋（収納袋）を原単位とした。

し尿回数は、1人1日5回とし、衛生車でのごみ取りは考慮しないものとした。

トイレの供給は、市の備蓄量（収納袋）を想定した。

※平成29年3月現在の市の収納袋の備蓄量は、スケットイレ赤（20箱×100枚/箱 2,000枚）、スケットイレ青（55箱×100枚/箱 5,500枚）、排便収納袋（1,300枚）の合計8,800枚とした。また、組立て式トイレ（ドント・コイ）は、メンテナンス無しで5,500回/基とされており、1基あたり5,500袋相当とした。需要量と供給量との差より不足量を算出した。

(2) 算出結果

表 3.13.5 物資の備蓄量・需要量・不足量 (A. 千葉県北西部直下地震) [冬 18 時強風]

地区	食糧					飲料水				生活必需品 (毛布)			トイレ				
	備蓄量 (食)	需要量 (食)		不足量 (食)		備蓄量 (リットル)	需要量 (リットル)		不足量 (リットル)	備蓄量 (枚)	需要量 (枚)	不足量 (枚)	備蓄量 (人分)	需要量 (人分)		不足量 (人分)	
		1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計	4~7日合計		1~3日合計	4~7日合計						1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計	4~7日合計
成田地区	6,338	13,584	22,725	7,246	22,725	768	6,792	11,363	0	990	1,676	686	11,140	9,703	11,363	0	0
公津地区	7,638	5,971	9,440	0	7,773	1,152	2,985	4,720	0	1,000	749	0	11,271	4,265	4,720	0	0
八生地区	1,910	667	1,270	0	26	180	333	635	0	400	79	0	4,478	476	635	0	0
中郷地区	1,622	279	532	0	0	192	140	266	0	200	33	0	2,241	200	266	0	0
久住地区	2,906	1,355	2,325	0	773	432	677	1,162	0	590	166	0	6,735	968	1,162	0	0
豊住地区	2,750	934	1,733	0	0	180	467	866	0	220	112	0	2,333	667	866	0	0
遠山地区	6,484	2,069	3,314	0	0	1,261	1,034	1,657	0	1,053	259	0	11,688	1,478	1,657	0	0
ニュータウン地区	17,602	9,561	14,837	0	6,796	1,872	4,781	7,418	0	2,956	1,206	0	33,664	6,829	7,418	0	0
下総地区	4,632	2,570	4,387	0	2,325	624	1,285	2,194	0	2,340	316	0	16,679	1,835	2,194	0	0
大栄地区	4,060	3,929	6,842	0	6,710	456	1,964	3,421	0	2,880	479	0	12,220	2,806	3,421	0	0
計	55,942	40,918	67,404	7,246	47,129	7,117	20,459	33,702	0	12,629	5,078	686	112,449	29,227	33,702	0	0

※余剰物資を市内他地区に再配分は行わないものとする。飲料水は、2日目以降、1日2回、給水車で給水を行うものとする。地区当たりの給水量は、その日の需要量の割合に応じて行うものとする。
生活必需品は、消耗しないものとする。トイレは、衛生車で汲み取りは行えないものとする。し尿量は、1人1日あたり5回とし、1回で1袋の排便収容袋を使用するものとする。
※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

表 3.13.6 物資の備蓄量・需要量・不足量 (B. 成田空港直下地震) [冬 18 時強風]

地区	食糧					飲料水				生活必需品 (毛布)			トイレ					
	備蓄量 (食)	需要量 (食)		不足量 (食)		備蓄量 (リットル)	需要量 (リットル)		不足量 (リットル)	備蓄量 (枚)	需要量 (枚)	不足量 (枚)	備蓄量 (人分)	需要量 (人分)		不足量 (人分)		
		1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計	4~7日合計		1~3日合計	4~7日合計						1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計
成田地区	6,338	22,006	38,462	15,668	38,462	768	11,003	19,231	0	344	990	2,680	1,690	11,140	15,718	19,231	0	0
公津地区	7,638	13,987	23,901	6,349	23,901	1,152	6,994	11,950	0	215	1,000	1,717	717	11,271	9,991	11,950	0	0
八生地区	1,910	827	1,576	0	494	180	414	788	0	14	400	99	0	4,478	591	788	0	0
中郷地区	1,622	489	930	0	0	192	244	465	0	8	200	58	0	2,241	349	465	0	0
久住地区	2,906	1,768	3,160	0	2,022	432	884	1,580	0	28	590	214	0	6,735	1,263	1,580	0	0
豊住地区	2,750	865	1,599	0	0	180	432	800	0	14	220	104	0	2,333	618	800	0	0
遠山地区	6,484	6,241	10,643	0	10,400	1,261	3,121	5,322	0	96	1,053	767	0	11,688	4,458	5,322	0	0
ニュータウン地区	17,602	19,348	32,364	1,746	32,364	1,872	9,674	16,182	0	294	2,956	2,389	0	33,664	13,820	16,182	0	0
下総地区	4,632	2,584	4,383	0	2,336	624	1,292	2,192	0	39	2,340	319	0	16,679	1,846	2,192	0	0
大栄地区	4,060	6,199	11,220	2,139	11,220	456	3,100	5,610	0	99	2,880	748	0	12,220	4,428	5,610	0	0
計	55,942	74,315	128,239	25,902	121,199	7,117	37,158	64,120	0	1,150	12,629	9,094	2,407	112,449	53,082	64,120	0	0

※余剰物資を市内他地区に再配分は行わないものとする。飲料水は、2日目以降、1日2回、給水車で給水を行うものとする。地区当たりの給水量は、その日の需要量の割合に応じて行うものとする。
生活必需品は、消耗しないものとする。トイレは、衛生車で汲み取りは行えないものとする。し尿量は、1人1日あたり5回とし、1回で1袋の排便収容袋を使用するものとする。
※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

表 3.13.7 物資の備蓄量・需要量・不足量 (C. 茨城県南部地震) [冬 18 時強風]

地区	食糧					飲料水					生活必需品 (毛布)			トイレ				
	備蓄量 (食)	需要量 (食)		不足量 (食)		備蓄量 (リットル)	需要量 (リットル)		不足量 (リットル)		備蓄量 (枚)	需要量 (枚)	不足量 (枚)	備蓄量 (人分)	需要量 (人分)		不足量 (人分)	
		1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計	4~7日合計		1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計	4~7日合計					1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計	4~7日合計
成田地区	6,338	5,363	8,089	0	7,114	768	2,681	4,044	0	0	990	682	0	11,140	3,831	4,044	0	0
公津地区	7,638	2,574	3,792	0	0	1,152	1,287	1,896	0	0	1,000	329	0	11,271	1,839	1,896	0	0
八生地区	1,910	142	271	0	0	180	71	136	0	0	400	17	0	4,478	102	136	0	0
中郷地区	1,622	72	137	0	0	192	36	69	0	0	200	9	0	2,241	51	69	0	0
久住地区	2,906	112	213	0	0	432	56	106	0	0	590	13	0	6,735	80	106	0	0
豊住地区	2,750	125	238	0	0	180	63	119	0	0	220	15	0	2,333	89	119	0	0
遠山地区	6,484	880	1,390	0	0	1,261	440	695	0	0	1,053	110	0	11,688	628	695	0	0
ニュータウン地区	17,602	1,553	2,246	0	0	1,872	777	1,123	0	0	2,956	200	0	33,664	1,109	1,123	0	0
下総地区	4,632	209	398	0	0	624	104	199	0	0	2,340	25	0	16,679	149	199	0	0
大栄地区	4,060	1,372	2,123	0	0	456	686	1,061	0	0	2,880	173	0	12,220	980	1,061	0	0
計	55,942	12,401	18,897	0	7,114	7,117	6,201	9,449	0	0	12,629	1,572	0	112,449	8,858	9,449	0	0

※余剰物資を市内他地区に再配分は行わないものとする。飲料水は、2日目以降、1日2回、給水車で給水を行うものとする。地区当たりの給水量は、その日の需要量の割合に応じて行うものとする。
生活必需品は、消耗しないものとする。トイレは、衛生車で汲み取りは行えないものとする。し尿量は、1人1日あたり5回とし、1回で1袋の排便収容袋を使用するものとする。

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

表 3.13.8 物資の備蓄量・需要量・不足量 (D. 成田市直下地震) [冬 18 時強風]

地区	食糧					飲料水					生活必需品 (毛布)			トイレ				
	備蓄量 (食)	需要量 (食)		不足量 (食)		備蓄量 (リットル)	需要量 (リットル)		不足量 (リットル)		備蓄量 (枚)	需要量 (枚)	不足量 (枚)	備蓄量 (人分)	需要量 (人分)		不足量 (人分)	
		1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計	4~7日合計		1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計	4~7日合計					1~3日合計	4~7日合計	1~3日合計	4~7日合計
成田地区	6,338	37,380	69,654	31,042	69,654	768	18,690	34,827	7,084	19,984	990	4,477	3,487	11,140	26,700	34,827	7,943	19,242
公津地区	7,638	32,920	59,044	25,282	59,044	1,152	16,460	29,522	5,764	16,943	1,000	3,989	2,989	11,271	23,514	29,522	5,575	16,314
八生地区	1,910	3,422	6,519	1,512	6,519	180	1,711	3,259	539	1,870	400	407	7	4,478	2,445	3,259	0	484
中郷地区	1,622	1,209	2,302	0	1,889	192	604	1,151	168	660	200	144	0	2,241	863	1,151	0	0
久住地区	2,906	2,403	4,413	0	3,910	432	1,201	2,207	304	1,266	590	289	0	6,735	1,716	2,207	0	0
豊住地区	2,750	1,631	3,072	0	1,953	180	815	1,536	226	881	220	195	0	2,333	1,165	1,536	0	193
遠山地区	6,484	22,922	40,887	16,438	40,887	1,261	11,461	20,443	3,555	11,733	1,053	2,782	1,729	11,688	16,373	20,443	2,372	11,297
ニュータウン地区	17,602	54,716	98,596	37,114	98,596	1,872	27,358	49,298	9,623	28,292	2,956	6,614	3,658	33,664	39,083	49,298	0	27,242
下総地区	4,632	3,062	5,281	0	3,711	624	1,531	2,641	320	1,516	2,340	376	0	16,679	2,187	2,641	0	0
大栄地区	4,060	5,899	10,608	1,839	10,608	456	2,949	5,304	812	3,044	2,880	713	0	12,220	4,213	5,304	0	0
計	55,942	165,563	300,378	113,227	296,773	7,117	82,782	150,189	28,394	86,189	12,629	19,986	11,871	112,449	118,259	150,189	15,890	74,771

※余剰物資を市内他地区に再配分は行わないものとする。飲料水は、2日目以降、1日2回、給水車で給水を行うものとする。地区当たりの給水量は、その日の需要量の割合に応じて行うものとする。
生活必需品は、消耗しないものとする。トイレは、衛生車で汲み取りは行えないものとする。し尿量は、1人1日あたり5回とし、1回で1袋の排便収容袋を使用するものとする。

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

3.13.3 避難所の充足

避難所避難者を対象者として、指定避難所の充足率を算出した。

表 3.13.9 避難所の充足 (A. 千葉県北西部直下地震) [冬 18 時強風]

地区	避難者数 (人)		収容人数 (人)	過不足 (人)	充足率
	全避難者	うち避難所			
成田地区	3,353	2,012	2,465	453	122.5%
公津地区	1,498	899	1,326	427	147.5%
八生地区	159	95	648	553	680.4%
中郷地区	67	40	175	135	438.5%
久住地区	333	200	768	568	384.7%
豊住地区	224	135	414	279	307.6%
遠山地区	518	311	1,267	956	407.7%
ニュータウン地区	2,413	1,448	5,831	4,383	402.8%
下総地区	633	380	1,616	1,236	425.8%
大栄地区	959	575	1,957	1,382	340.2%
計	10,156	6,093	16,467	10,374	270.2%

※一人あたり使用可能面積 2 m²とした場合

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

地区	避難者数 (人)		収容人数 (人)	過不足 (人)	充足率
	全避難者	うち避難所			
成田地区	3,353	2,012	4,942	2,930	245.7%
公津地区	1,498	899	2,657	1,758	295.6%
八生地区	159	95	1,296	1,201	1360.9%
中郷地区	67	40	351	311	879.5%
久住地区	333	200	1,670	1,470	836.6%
豊住地区	224	135	830	695	616.6%
遠山地区	518	311	2,536	2,225	816.1%
ニュータウン地区	2,413	1,448	11,677	10,229	806.5%
下総地区	633	380	3,239	2,859	853.3%
大栄地区	959	575	3,928	3,353	682.8%
計	10,156	6,093	33,126	27,033	543.6%

※一人あたり使用可能面積 1 m²とした場合

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

表 3.13.10 避難所の充足 (B. 成田空港直下地震) [冬 18 時強風]

地区	避難者数 (人)		収容人数 (人)	過不足 (人)	充足率
	全避難者	うち避難所			
成田地区	5,360	3,216	2,465	▲751	76.6%
公津地区	3,433	2,060	1,326	▲734	64.4%
八生地区	197	118	648	530	548.2%
中郷地区	116	70	175	105	250.8%
久住地区	429	257	768	511	298.6%
豊住地区	208	125	414	289	332.0%
遠山地区	1,534	921	1,267	346	137.6%
ニュータウン地区	4,777	2,866	5,831	2,965	203.4%
下総地区	637	382	1,616	1,234	422.6%
大栄地区	1,496	898	1,957	1,059	218.0%
計	18,189	10,913	16,467	5,554	150.9%

※一人あたり使用可能面積 2㎡とした場合

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

地区	避難者数 (人)		収容人数 (人)	過不足 (人)	充足率
	全避難者	うち避難所			
成田地区	5,360	3,216	4,942	1,726	153.7%
公津地区	3,433	2,060	2,657	597	129.0%
八生地区	197	118	1,296	1,178	1096.3%
中郷地区	116	70	351	281	503.0%
久住地区	429	257	1,670	1,413	649.4%
豊住地区	208	125	830	705	665.6%
遠山地区	1,534	921	2,536	1,615	275.4%
ニュータウン地区	4,777	2,866	11,677	8,811	407.4%
下総地区	637	382	3,239	2,857	847.0%
大栄地区	1,496	898	3,928	3,030	437.5%
計	18,189	10,913	33,126	22,213	303.5%

※一人あたり使用可能面積 1㎡とした場合

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

表 3.13.11 避難所の充足 (C. 茨城県南部地震) [冬 18 時強風]

地区	避難者数 (人)		収容人数 (人)	過不足 (人)	充足率
	全避難者	うち避難所			
成田地区	1,363	818	2,465	1,647	301.4%
公津地区	658	395	1,326	931	335.9%
八生地区	34	20	648	628	3186.8%
中郷地区	17	10	175	165	1701.9%
久住地区	27	16	768	752	4813.0%
豊住地区	30	18	414	396	2317.5%
遠山地区	221	132	1,267	1,135	956.5%
ニュータウン地区	399	239	5,831	5,592	2435.2%
下総地区	50	30	1,616	1,586	5413.4%
大栄地区	346	208	1,957	1,749	941.4%
計	3,144	1,887	16,467	14,580	872.8%

※一人あたり使用可能面積 2 m²とした場合

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

地区	避難者数 (人)		収容人数 (人)	過不足 (人)	充足率
	全避難者	うち避難所			
成田地区	1,363	818	4,942	4,124	604.3%
公津地区	658	395	2,657	2,262	673.2%
八生地区	34	20	1,296	1,276	6373.6%
中郷地区	17	10	351	341	3413.4%
久住地区	27	16	1,670	1,654	10465.7%
豊住地区	30	18	830	812	4646.2%
遠山地区	221	132	2,536	2,404	1914.6%
ニュータウン地区	399	239	11,677	11,438	4876.7%
下総地区	50	30	3,239	3,209	10850.3%
大栄地区	346	208	3,928	3,720	1889.5%
計	3,144	1,887	33,126	31,239	1755.9%

※一人あたり使用可能面積 1 m²とした場合

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

表 3.13.12 避難所の充足 (D. 成田市直下地震) [冬 18 時強風]

地区	避難者数 (人)		収容人数 (人)	過不足 (人)	充足率
	全避難者	うち避難所			
成田地区	8,953	5,372	2,465	▲2,907	45.9%
公津地区	7,977	4,786	1,326	▲3,460	27.7%
八生地区	815	489	648	159	132.5%
中郷地区	288	173	175	2	101.3%
久住地区	577	346	768	422	221.7%
豊住地区	390	234	414	180	177.1%
遠山地区	5,565	3,339	1,267	▲2,072	37.9%
ニュータウン地区	13,229	7,937	5,831	▲2,106	73.5%
下総地区	752	451	1,616	1,165	358.3%
大栄地区	1,427	856	1,957	1,101	228.6%
計	39,972	23,983	16,467	▲7,516	68.7%

※一人あたり使用可能面積 2 m²とした場合

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。

地区	避難者数 (人)		収容人数 (人)	過不足 (人)	充足率
	全避難者	うち避難所			
成田地区	8,953	5,372	4,942	▲430	92.0%
公津地区	7,977	4,786	2,657	▲2,129	55.5%
八生地区	815	489	1,296	807	265.1%
中郷地区	288	173	351	178	203.3%
久住地区	577	346	1,670	1,324	482.1%
豊住地区	390	234	830	596	355.1%
遠山地区	5,565	3,339	2,536	▲803	76.0%
ニュータウン地区	13,229	7,937	11,677	3,740	147.1%
下総地区	752	451	3,239	2,788	718.2%
大栄地区	1,427	856	3,928	3,072	458.9%
計	39,972	23,983	33,126	9,143	138.1%

※一人あたり使用可能面積 1 m²とした場合

※小数点以下を含む数値を整数で表示しているため計があわない場合がある。